

2026 年 9 月 30 日

各 位

会社名 株式会社 B l u e M e m e  
(証券コード：4069 東証グロース市場)  
代表者 代表取締役社長 芦谷 乾太郎  
問合せ先 財務本部長 岩川 隆幸  
TEL 03-6712-8196 (代表)

## 2027 年 3 月期中間期における 特別損失（調査関連費用）の計上に関するお知らせ

当社は、2027 年 3 月期中間連結会計期間（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）において、下記のとおり特別損失（調査関連費用）を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の計上に至った経緯

当社は、本日（2026 年 9 月 30 日）付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示したとおり、2020 年 3 月 30 日に締結したソフトウェアライセンス契約（以下、「本件ソフトウェア取引」という。）に関する売上の計上時期及び会計処理、並びにこれに伴う仕入取引の会計処理についての疑義に対し、2026 年 6 月 11 日に外部の弁護士及び公認会計士から構成される特別調査委員会を設置し、調査を進めてまいりました。当社は、2026 年 9 月 4 日に特別調査委員会から調査報告書を受領し、本件ソフトウェア取引に係る 30,000 千円の売上計上は、実質的に無償となる取引を有償の売上取引と実態を偽ったことによる売上の過大計上であり、一方、33,500 千円を業務委託費の増額を通じて返すことを約束した念書を意図的に隠蔽し、2021 年 3 月期以降、外注費の増額で当該返済を売上原価計上してきたことが判明いたしました。

これを受けて、当社は、2021 年 3 月期から 2025 年 3 月期の有価証券報告書、2022 年 3 月期から 2024 年 3 月期の第 1 四半期から第 3 四半期までの四半期報告書及び 2025 年 3 月期及び 2026 年 3 月期の半期報告書について、訂正報告書を提出いたしました。

当社は、本件疑義に係る調査及びこれに関連する対応に要する費用を、特別損失として計上する見込みとなりました。

#### 2. 特別損失の内容

- (1) 科目 調査関連費用
- (2) 計上額 約 394 百万円（見込額）
- (3) 計上時期 2027 年 3 月期中間連結会計期間（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

（４）主な内容 特別調査委員会及び当初調査体制の調査費用、会計監査人に対する過年度の監査報酬、弁護士その他の専門家に対する報酬等

### 3. 業績に与える影響

上記の特別損失は、2027 年 3 月期中間連結会計期間の連結業績に反映される見込みです。2027 年 3 月期の連結業績予想につきましては、本日（2026 年 9 月 30 日）公表の「2026 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に本特別損失を織り込んでおります。

株主の皆様、投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。

以 上